

# ほっかいどうの社会保障

2013年1月17日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 地域社保協の活動を広げましょう！



### 2012年度地域社保協交流集会開催

1月11日(土) 12日(日)、2012年度の地域社保協交流集会を行い、2日間で約50人が参加しました。1日目の学習講演に続いて、2日目は、各社保協、団体などの活動を交流しました。

はじめに、「自治体・議会への運動 札幌社保協の活動から」と題して、斉藤事務局長から指定報告があり、国保、介護保険、生活保護、地域社

保協の運営などについて、報告されました。また、北海道社保協が、道内の保険者を対象に行った「国民健康保険」・「介護保険・高齢者等福祉政策」の二つの調査結果の概要も報告されました。

### 国保 「不当な差押(換価)をやめさせた」

道社保協の国保調査では、住民の要求や運動もあり、前年度と比べ保険料を据え置く保険者が多かったことや、資格証明書の発行の減少する一方で差し押さえが増えていることなどの特徴でした。

根室社保協が市と交渉を重ね「国保が社会保障」であることを認めさせた経験や、残高3万円程度の預金を差し押さえた石狩市に対して、差し押さえの原則に反していると不当性を訴え、換価された金額を返済させた取り組みが報告されました。十勝からは、滞納を理由に、他の事業を制限する「サービス制限条例」が設けられ、実際に制限している自治体もあることなども報告されました。

#### 【国保調査の特徴】

(回答 97/157 率 61.8%)

- ◆保険料据え置き 7割の保険者
- ◆差し押え 85%の保険者実施
- ◆保険料減免 4割の保険者実施
- ◆窓口負担減免 17保険者 102件
- ◆国保財政の安定化を望む声多い

### 介護保険 自治体は国による改善を求めている 「一般会計の繰り入れは可能」

道内の介護保険料は、ほとんどの保険者で値上げされ、行政に対して苦情や疑問が多く寄せられました。訪問介護の生活援助時間の短縮での影響も深刻です。

小樽社保協からは、市内の全訪問介護事業所に呼びかけ集会を行い、小樽市が独自に行った生活援助時間短縮の影響調査も報告してもらった経験。

道医労連からは、道内の市町村キャラバンで、国への介護改善を求める要請行動を行い、多くの自治体が国に対して改善を求めていることや保険料値上げを抑制するために一般会計から繰り入れしている自治体があることなども報告されました。また、労働組合からは、介護労働者の深刻な労働実態も報告されました。

#### 一般会計の繰り入れについて

参加した大阪社保協の寺内事務局長から、厚労省が、「介護保険会計へ一般会計からの繰り入れをしてはいけない法的根拠はない」ことを確認したことが報告されました。

介護保険創設当時、「保険料の減免のための一般会計の繰り入れに言及しただけ」とのこと。

わかっているだけでも道内3カ所、半数の自治体で繰り入れしている県もあります。

### 生活保護、孤立死予防、被害軽減のとりくみ

1年前に起きた札幌白石区の姉妹孤立死事件後の白石社保協の取り組み

や、生活保護の改悪の動きに対して「生活保護利用者の手記」を作り、生活実態や行政の滞納など明らかにして運動を広げている道生連の取り組みなどが報告されました。私たちの身近でも一部に「生活保護への誤解」もあるので、権利としての生活保護の学習が必要との発言もありました。また、生活困難が広がっている中で、相談会活動などを行い、要介護認定による障害控除や、非課税証明書の発行を受けるために低年金者でも確定申告することなど、被害を軽減する取り組みも報告されました。

## 貧困をなくそう！全道学習・運動交流集会

2月2日(土) 10:00~15:30 北海道高教組センター



記念講演「貧困と自己責任」 講師 河添 誠氏(首都圏青年ユニオン副委員長)

【参加費無料】 主催：雇用・くらし・SOSネットワーク北海道